

広島別院だより

Vol.5
春号

真宗大谷派（東本願寺）
広島別院教化委員会発行

広島別院建設の（今）

～現在仏具の製作中～

六月二十五日の御本尊還座式に向け、内陣の仏具製作が現在、（株）三村松によって行われています。

別院仏具の大半が新調となり、ほとんどが特注のため、製作に半年以上を要します。

仏具（木部）の大きかな製作過程は次のようになります。

- ① 内陣の広さに応じた設計
- ② 木地の製作



現場での木地合わせ

- ③ 現場での調整（木地合わせ）

- ④ 漆の塗装（三度塗り）

- ⑤ 金箔を押し

- ⑥ 装飾金具の製作

- ⑦ 組立・納入

その他、細部にいたる入念な打ち合わせや細かい調整作業、金属仏具の製作などを経て、五月末に納入の予定です。

そして、御本尊の還座式を行い、ようやく御本尊にお帰りにいただくこととなります。



仏具の仮設置



建物に合わせた微調整



ピッタリ！



現場での打ち合わせ

原爆の記憶

～広島別院の被爆灯籠～

玄関前の坪庭に被爆した石灯籠が設置されました。

原爆の熱線により焼けただれた表面が

「非核・非戦」の発信地として再出発する広島別院にとって、

悲惨な戦争の記憶をとどめるモニュメントとなります。



お寺の活動いろいろ

○安芸北組同朋会 宗祖聖人750回御遠忌法要

【日時】四月十三日（日）午前十時～午後四時

【会場】光楽寺 北広島町才乙二一三八番地

【講師】尾畑文正師（同朋大学教授）

【講題】「世の中安穏なれ 仏法ひろまれ」

【会費】二千元（弁当代含む）

※十時から同朋会御遠忌法要、十一時から講師の法話があります。

【お問い合わせ】〇八二六・三五・〇一七一（光楽寺）

○安芸南組 仏婦連大会

【日時】五月二十二日（木）午前十時半から午後三時

【会場】極楽寺 広島市東区尾長西二・十七

【内容】鈴木君代さん（ギター）と天白真央さん（シンセサイザー）の歌と法話。

【講題】「いのちの花を咲かせよう」

【会費】二千元（弁当代含む）

【お問い合わせ】〇八二・二六四・一〇〇八（極楽寺）

○芸備組 宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要の（とどい

【日時】五月二十四日（土）午前十時～午後三時すぎ

【会場】徳栄寺 安芸高田市吉田町吉田九二四番地

【内容】法要・門徒感話・基調法話・組内住職によるパネルディスプレイ・帰敬式事前学習会・

組同朋総会

【講師】寺川大雅師（庄原市西願寺住職）

【講題】「親鸞聖人を憶う」

【会費】二千元（弁当代含む）

【お問い合わせ】〇八二四・八二・三一七三（西願寺）

お寺のはてなワード(4)

○還座式(げんざしき)

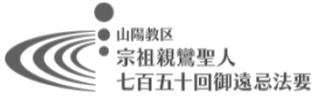
還座式とは、文字通り「座に還る」ことです。本堂の新築や修復工事をする時、御本尊を一時的に別の場所に移す儀式を動座式(どうざしき)といいます。そして本堂が完成すると御本尊を本堂に戻します。その際、行われるのが還座式です。お内仏の御本尊を新しくお迎えしたり、引越す場合は、御移徙(ごいし・おわたまし)といいます。

○声明(しょうみょう)

声明とは、古代インドでは言語・音韻という分野の学問でしたが、それが転化して仏典に節をつけて朗唱する声樂を指す言葉となりました。儀礼に用いる声明は、梵唄(ぼんぱい)・梵唄(ぼんのか)ともいい、インドで起こり、中国から日本に伝来しました。日本の声明は天台声明と真言声明が母体となっています。浄土真宗は天台声明の流れをくみます。

○坂東曲(ばんとうぶし)

坂東曲は東本願寺の報恩講で勤められる、現在真宗大谷派だけに伝わる声明です。僧侶が節に合わせて上体を前後左右に激しく振りながら、お勤めをします。諸説ありますが、関東の門弟が上洛し、親鸞聖人の廟堂で坂東訛りのお勤めをしたことが起源と考えられます。



・『山陽教区同朋会館・広島別院落慶法要』

二〇一四年十月二日(木) 午後一時

・山陽教区・広島別院

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要

二〇一四年十月三日(金) 午前九時半

御本尊還座式のごあんない

広島別院では来る六月に御本尊還座式を行います。この還座式をもって、いよいよ別院の正式な落成となります。

新しくなった別院の内見会も予定していますので、皆様ぜひ、お参りください。(予約は不要です。)

【期日】二〇一四年六月二十五日(水)

【会場】広島別院明信院(別院本堂にお集まりください。)

【日程】

・一時三〇分 開始
 ・二時 還座
 ・二時三〇分 勤行
 ・三時三〇分 式典
 ・四時 内見会
 ・五時 終了(予定)

記念講演会の参加受付開始

『広島別院だより』vol.13でお知らせしました『親鸞聖人御遠忌記念講演会』の詳細が決定しました。

テレビ・新聞などでおなじみの政治学者・姜尚中(カン・サンジュン)氏の基調講演や東本願寺に七百年以上伝わる真宗大谷派の伝統声明(坂東曲)の実演などを予定しています。

参加ご希望の方は別院までお問い合わせください。

※広島別院へのお申し込みは別院門徒の方のみに限ります。

【期日】二〇一四年六月十四日(土)

【会場】国際会議場フェニックスホール(平和公園内)

【日程】

・十二時三〇分 開場
 ・一時三〇分 開会式
 ・二時 伝統声明の実演(坂東曲)
 ・二時三〇分 講演(姜尚中先生)
 ・三時五〇分 対談(大谷大学教授木越康氏と姜氏の対談)
 ・五時 終了(予定)

編集後記

原爆によって焼失した広島別院は六十三年前、焼け野原に再建されました。当時、使用された木材の多くは芸北(現北広島町)の方々によって寄進されたものだったそうです。自らの生活にさえ事欠く時代に別院再建を念願した先輩方の「志」を訪ねれば、新しく建て替わった建物を前にして身の引きしまる思いです。

真宗大谷派(東本願寺)広島別院明信院

〒730-0044 広島市中区宝町 4-16

Tel 082-241-5342

【HP アドレス】

<http://www.ac.auone-net.jp/~hirobetu/>